

向きを変えれば、 追い風になる。

世界では「サーキュラーエコノミー」への移行が急速に加速しています。資源の枯渇。環境汚染。日本の企業も例外なく、対策が求められています。

向かい風か、追い風か。捉え方ひとつで、
たくさんのチャンスが見つかります。

競争ではなく、共創を。

自治体、教育機関、民間企業が連携すれば、
地方から世界を変えることもできるはずです。

サーキュラーエコノミー
チャンスは、地方にある

サーキュラーエコノミーによる地方創生シンポジウムin福岡

2025.1.17

金

13:30 - 17:15 (予定)
開場 13:00



福岡国際会議場 多目的ホール 2F
福岡県福岡市博多区石城町2-1

プログラム

13:30～ 行政のCE推進	13:50～ 大学のCE推進	14:15～ 自治体のCE推進	14:35～ 企業のCE推進
<p>田中 将吾 経済産業省 GXグループ 資源循環経済課 課長</p> 	<p>馬奈木 俊介 九州大学 工学研究院 主幹教授 都市研究センター 長</p> 	<p>兼尾 明利 北九州市環境局 局長</p> 	<p>中台 澄之 サーキュラーパーク 九州株式会社 代表取締役</p>  <p>山本 直人 Cuteabo株式会社 代表取締役</p>  <p>奥村 隆亨 霧島酒造株式会社 グリーンエネルギー本部 部長</p> 
サーキュラーエコノミー 実現に向けた産官学連携	持続可能なまちづくり: 実現のための評価モデル	サーキュラーエコノミーの 先進都市を目指して	サーキュラーパーク九州が 目指す循環ビジネスと地域連携 未利用資源の アップサイクルによる地方創生 地域資源を活かした、 持続可能な焼酎造り



ファシリテーター
山下 史哲
株式会社新東通信
CIRCULAR DESIGN STUDIO.
スタジオ長



司会
松尾 有里子

*プログラム内容や時間は事前の予告なく変更の可能性があります。予めご了承ください。

PROGRAM シンポジウムプログラム

行政のCE推進	13:30	サーキュラーエコノミー 実現に向けた産官学連携	経済産業省 GXグループ 資源循環経済課 課長 田中 将吾	
大学のCE推進	13:50	持続可能なまちづくり: 実現のための評価モデル	九州大学工学研究院 主幹教授 都市研究センター長 馬奈木 俊介	
自治体のCE推進	14:15	サーキュラーエコノミーの 先進都市を目指して	北九州市環境局長 兼尾 明利	
企業のCE推進	14:35	サーキュラーパーク九州が 目指す循環ビジネスと地域連携	サーキュラーパーク九州株式会社 代表取締役 中台 澄之	
	15:15	未利用資源の アップサイクルによる地方創生	Curelabo株式会社 代表取締役 山本 直人	
	15:30	地域資源を活かした、 持続可能な焼酎造り	霧島酒造株式会社 グリーンエネルギー本部 部長 奥村 隆享	
議論・交流会	15:45	パネルディスカッション ※5分間の質疑応答あり	経済産業省/北九州市/サーキュラーパーク九州/ Curelabo/霧島酒造 ファシリテーション:株式会社新東通信 CIRCULAR DESIGN STUDIO. スタジオ長 山下 史哲	
	16:30	Meetup (ネットワーキング)	名刺交換&ネットワーキングの 時間をご用意	

サーキュラーエコノミー(CE)とは

大量生産・大量廃棄から脱却し、始めから廃棄や汚染を生み出さない仕組みをつくる経済モデル。資源の効率的・循環的な利用を図りつつ、ストックを有効活用しながらサービス化等を通じ、付加価値を最大化させることを目指す。



始めから
廃棄物を
出さない



シンポジウムへの 参加申し込みはこちら ▶



WEBサイト:<https://business.form-mailer.jp/lp/41b6d914265098> 申し込みフォーム

株式会社ランドマークス「サーキュラーエコノミーシンポジウム」係
電話:052-990-3796(平日10:00-17:00[12/28-1/5除く])
MAIL:ce-entry@lms-g.jp